

# かがやき新聞 十月号



## 来年に向けて育てて

### 水尾 フジバカマ



今年は新型コロナウイルスの影響を考慮して、毎年恒例のフジバカマ鑑賞会は開催しませんでした。

しかし、来年につなげるためにもフジバカマの手入れは行われ、今年もきれいにフジバカマの花が咲きました。フジバカマの香りに誘われて、アサギマダラもちらほらとやってきました。

例年鑑賞会の開催期間にあたる9月下旬の土曜・日曜・月曜には、来客の整理のために自治会バスの当番に行っていました。が、あまり人は来ず、密は回避できたと思われ

ます。来年こそは開催できるとよいですね。

京都市文化市民局地域自治推進室北部山間かがやき隊  
岩陰・水尾地域担当 五明 昇祐  
京都市右京区嵯峨嵯原宮ノ上町二一五 岩陰出張所  
電話 〇七七一 四四 〇三一四

## 強くつなぐ

### つなぐるマルシェ



毎月第2・第4金曜日にて区役所で行われているつなぐるマルシェ。25日からは岩陰の農家さんの出店も始まりました。比較的によく売れたので、出店者の方も大満足です。

「今度はいつ？」というお客さんもちろん、地域と街中がだんだん強くつながるようになってきました。

隊員レギュラー出演  
京の田舎暮らしだより  
京都三条ラジオカフェ  
FM 79.7MHz  
毎月、第2、第4火曜日  
12:00 ~ 12:09  
10月は13日と27日です！

<http://radiocafe.jp/2019010001/>



## 日の要慎

▽先日、三重県いなべ市を走る三岐鉄道北勢線に乗りに行つたとき、「とういん(東員)」という駅を見た。岩陰から東員に行つたということ。こちらの「とういん」も読むのに難儀する人がいそう。

▽北勢線は存続が危ぶまれている路線の一つ。鉄道・地域・行政が一体となってその存続に向けて尽力しているという。イベントなどの開催、沿線のPRなど。ただ、コロナの影響も受けている感じが感じられる。

▽過疎の地域を走るバスや鉄道はその地域の生命線ともいえる。それは原・神吉線然り、水尾自治会バスも然りである。かかわる人々たち全員でその在り方について考え取り組んでいく必要があるだろう。

